

## 令和7年度第2回甲府市環境審議会議事録

1. 開催日時 令和8年2月20日(金) 午前10時～午前11時

2. 開催場所 甲府市環境センター 3階 大会議室

### 3. 出席者

(委員)

会長：丸山正次 (山梨学院大学 名誉教授)  
委員：森一博 (山梨大学大学院 総合研究部 教授)  
柿嶋敦 (甲府市農業委員会 会長)  
清水聡子 ((株)山梨県環境科学検査センター 技術部 検査課 課長補佐)  
小澤一昭 (山梨環境カウンセラー協会 会員)  
杉原孝一 (日本労働組合総連合会 山梨県連合会 会長)  
勝岡伸圭 (甲府商工会議所 議員)  
廣瀬明彦 ((一社)甲府青年会議所 理事長)  
山田千恵美 (甲府市男女共同参画推進委員会 委員)  
酒井大介 (甲府市消費者問題懇話会 委員)  
功刀敏男 (甲府市ボランティア団体連絡協議会 会長)  
欠席者：渡邊文昭 (山梨県森林環境部 森林環境政策課長)  
清水健治 (甲府市自治会連合会 理事)  
川崎靖 (甲府商店街連盟 会長)  
米山敏彦 (中央森林組合 代表理事組合長)  
小林成光 (甲府市工業協会 会長)  
米山弘祐 (甲府市小中学校PTA連合会 常任理事)

(事務局)

田中環境部長、平岡環境総室長、武内ごみ収集課長、太田ごみ減量課長、臼井環境保全課長、奥野環境政策課環境政策係課長補佐、末木環境政策課温暖化対策係係長、樋口環境政策課温暖化対策係主任、平賀環境政策課環境政策係主任、松木環境政策課環境政策係主任

### 4. 配布資料

資料1 第三次甲府市環境基本計画 令和8年度 年次計画(案)

## 5. 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 第三次甲府市環境基本計画令和8年度年次計画（案）について
  - (2) その他
- 4 閉会

## 6. 議事要旨

事務局	(1)「第三次甲府市環境基本計画」令和8年度年次計画（案）について 第三次甲府市環境基本計画令和8年度年次計画（案）について説明を行った。
委員	個別目標 1-1「自然環境の保全」取組方針「公共施設における節水や雨水利用の促進」について、市役所本庁舎以外の公共施設に雨水利用設備を導入する予定はあるか。雨水を資源として活用できるよう検討いただきたい。
事務局	現時点では市役所本庁舎以外の公共施設への導入予定はないが、今後は他都市の事例を調査・研究していく。
委員	個別目標 1-2「多様な生態系の保全」取組方針「特定外来生物に関する情報発信」について、特定外来生物の拡大は早い段階で食い止めることが大切なので、市民の意識啓発のためにも専門家に原稿作成を依頼し、年に2回以上発信していただきたい。
事務局	令和7年度は市ホームページのリニューアルと、広報こうふ2月号において「外来種」についての記事を掲載した。今後も広報担当と協議し、市民に情報を伝えていきたいと考えている。専門家の活用に関しては、必要に応じてアドバイスをいただくような検討を行う。
委員	個別目標 2-1「良質な大気・水等の保全」取組方針「化学物質等の適正な管理と廃棄」について、在庫確認に加えて適切な管理の監査を年に1回行うことを目標としてはどうか。

事務局	<p>本項目では主に水質検査に伴い発生する試験廃液等について想定している。化学物質については毎月在庫確認を行い、年に一度技術管理者による監査を行っている。今後も施設ごとに法令に基づき適切な管理を行う。</p>
委員	<p>個別目標 1-2「多様な生態系の保全」取組方針「地域の実情に応じた有害鳥獣の駆除」について、東日本を中心としてクマの出没が市民生活に影響を与えているところであるが、甲府市での出没状況と対策はどのようなものか。</p>
事務局	<p>令和7年度の甲府市内におけるクマ、あるいはクマらしき動物の目撃情報は、令和8年2月5日現在で18件だった。目撃情報があった場合には現地での痕跡の調査、目撃者への聞き取りにより正確な情報を収集し、防災無線等による注意喚起を行っている。また、クマの被害に遭わないための啓発チラシを作成し、組回覧により周知を行った。</p>
委員	<p>個別目標 4-1「3R+Renewable の推進」取組方針「有価物・資源物の回収の推進」について、甲府市ではどのように小型充電式電池等の回収を行っているか。回収したモバイルバッテリー等どのように処分しているか。</p>
事務局	<p>甲府市では令和7年9月に公民館等の窓口14ヶ所でモバイルバッテリー等の回収を開始し、令和8年1月末時点で2000個以上回収している。回収したモバイルバッテリー等は、認定事業者を通じて適切に処理している。</p>
委員	<p>個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「エコ通勤・エコ通学等の推進」について、山梨県では昨年9月から県内7ヶ所にポートを設ける次世代モビリティのシェアリングサービス事業を行っていたが、甲府市ではそのことを把握していたか。また、甲府市の「サイクル・アンド・ライド」駐輪場をポートに追加することが有効だと思われるので検討していただきたい。</p>
事務局	<p>山梨県で実施したシェアリングサービス実証事業は、本市や甲斐市、昭和町が参画し、民間事業と実施した。来年度も同様の事業を実施する可能性があるため、その際は市の「サイクル・アンド・ライド」駐輪場の追加を含め、本市の公共交通政策の推進につながる提案を検討する。</p>

委員	個別目標 3-1「地球温暖化対策の推進」取組方針「太陽光エネルギーの導入促進」について、住宅用太陽光発電システム等に助成を行うとあるが、ペロブスカイト太陽光発電フィルムが商用化されたらすぐに対応できるような準備は進めているか。
事務局	ペロブスカイト太陽電池は国も普及に取り組んでいるものであり、調査を行っている。今後さらに技術開発が進み、実用性が高まった際には公共施設への設置や住宅への設置の後押しに取り組んでいきたいと考えている。
委員	個別目標 4-1「3R+Renewable の推進」取組方針「有価物・資源物の回収の推進」について、ペットボトルの回収に報奨金はあるか。
事務局	現状、ペットボトルは報奨金の対象となっていない。皆様に排出いただく機会を多くするため、有価物回収の際に、甲府市が業者へ回収を委託する中、地域住民にご協力いただいて他の有価物と一緒に回収しているものであり、ペットボトルを資源リサイクルの輪に入れるためにも引き続きご協力を賜りたい。
委員	個別目標 2-1「良質な大気・水等の保全」取組方針「生活排水対策の推進」について、甲府市と他市の境では、甲府市は下水道に接続できるが、他市は下水道に接続できず浄化槽を使用している地域がある。他市の人であっても負担金を取るなどして下水道に接続できるようにした方が行政としても環境としても良いのではないか。
事務局	下水道の普及・効率化のために、負担金を求めて他市町と下水道を共有して使用することはあるかと思うので、要望として伺い、担当部局に確認の上で改めて回答させていただく。
委員	同じく取組方針「生活排水対策の推進」について、老朽化した下水管等の点検・更新等はどのような計画に基づき実施されているか。
事務局	下水管の調査は上下水道局で行っており、大きな設備から行っていく方針があると聞いているが、環境審議会事務局では計画の進捗を把握していないため、担当課に確認して改めて回答させていただく。
事務局	(2) その他 今後の予定等について説明を行った。